

令和4年7月5日(火) 総合教育会議

# コロナ禍における 県立高校の教育相談体制の 現状と課題



県立学校長会議副議長  
(平塚江南高等学校長)

吉川 亮

# コロナ禍の高校生の日常 ～教育相談の視点からみて～



全国一斉休業中の自宅での過ごし方

24時間保護者と過ごす毎日

部活動の制限

修学旅行や体育祭等の中止

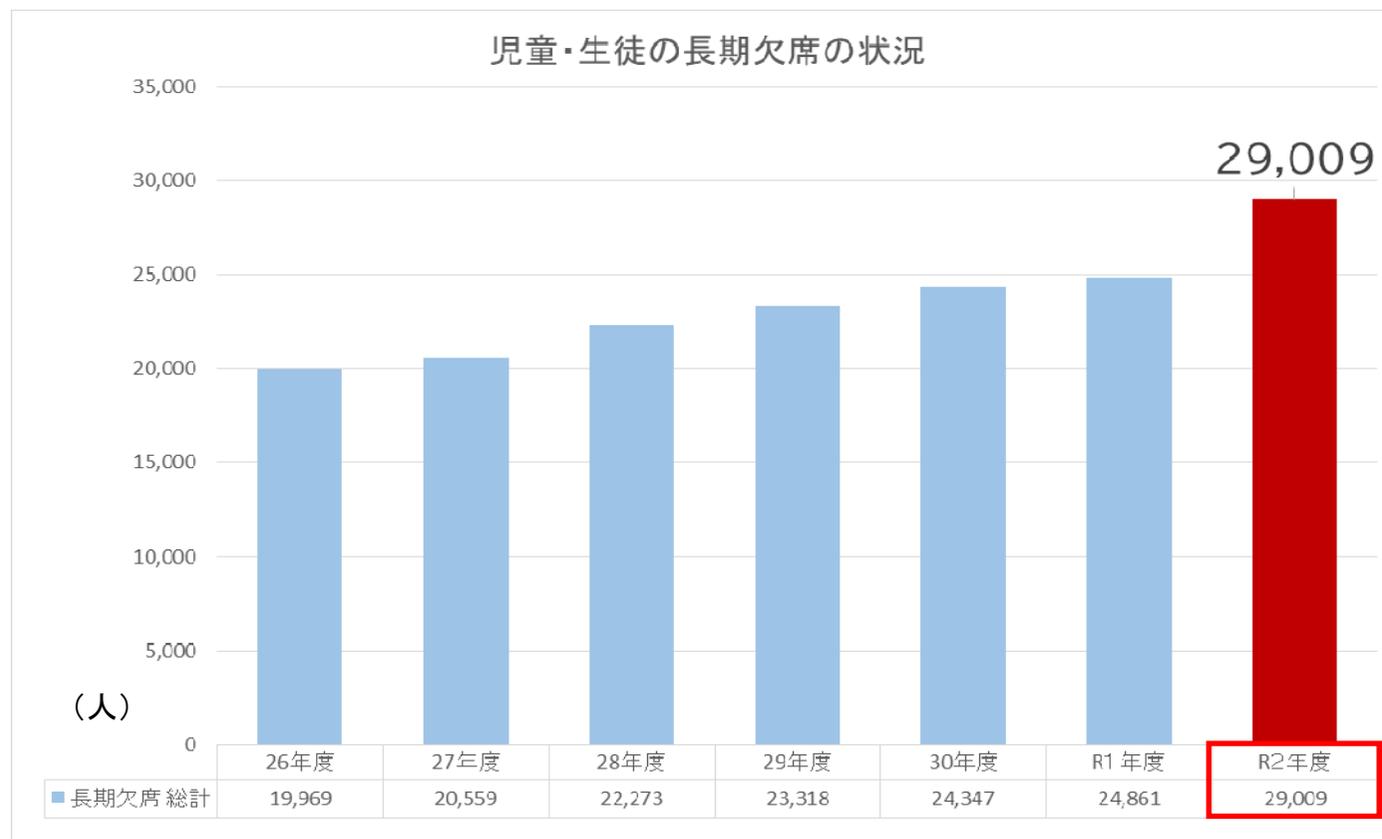
マスク生活

大学入試や就職試験方法の急な変更

# 神奈川県の子どもたちの現状

～ 令和2年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査の結果から～

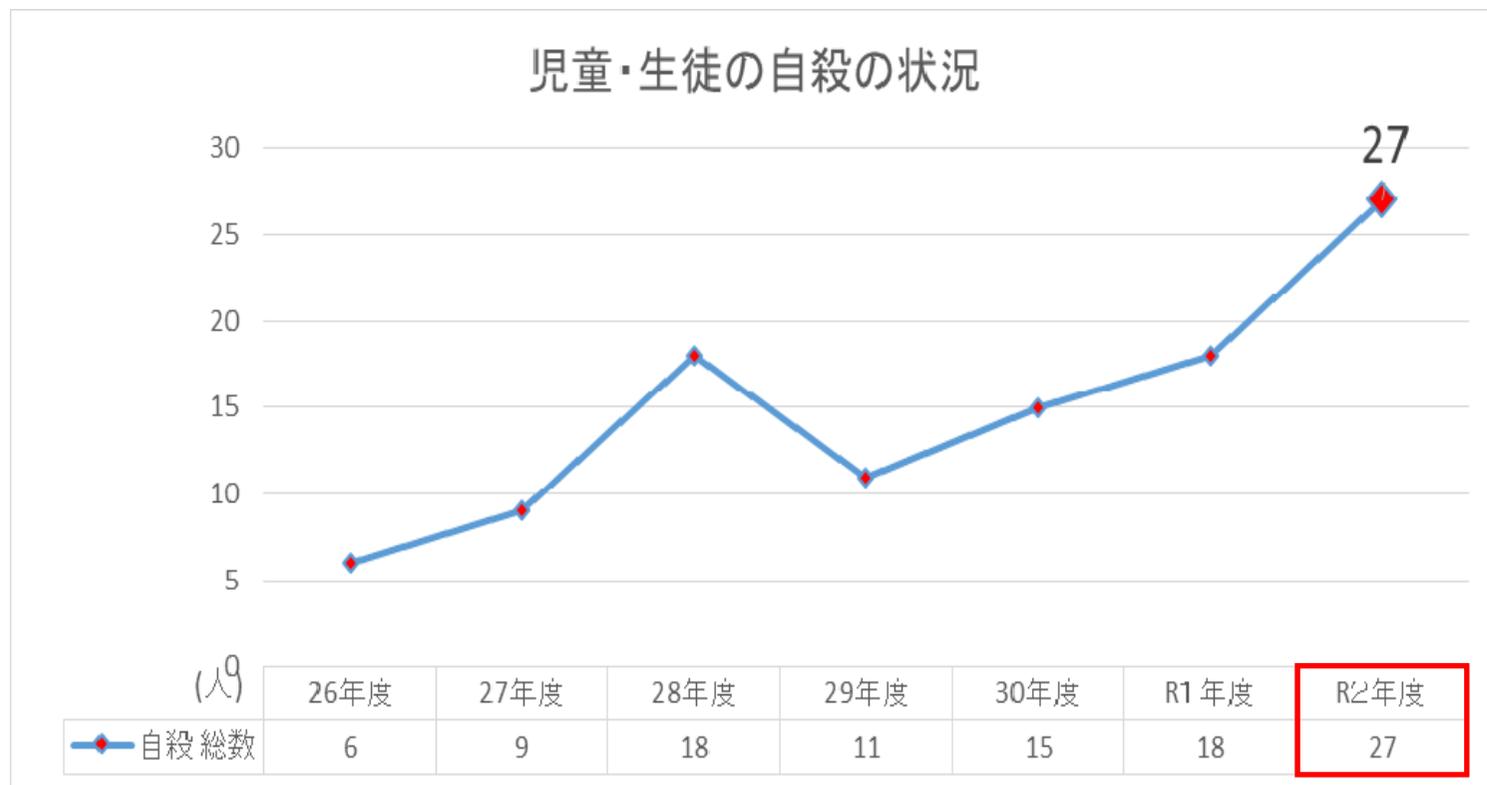
## ■ 長期欠席の人数



# 神奈川県の子どもたちの現状

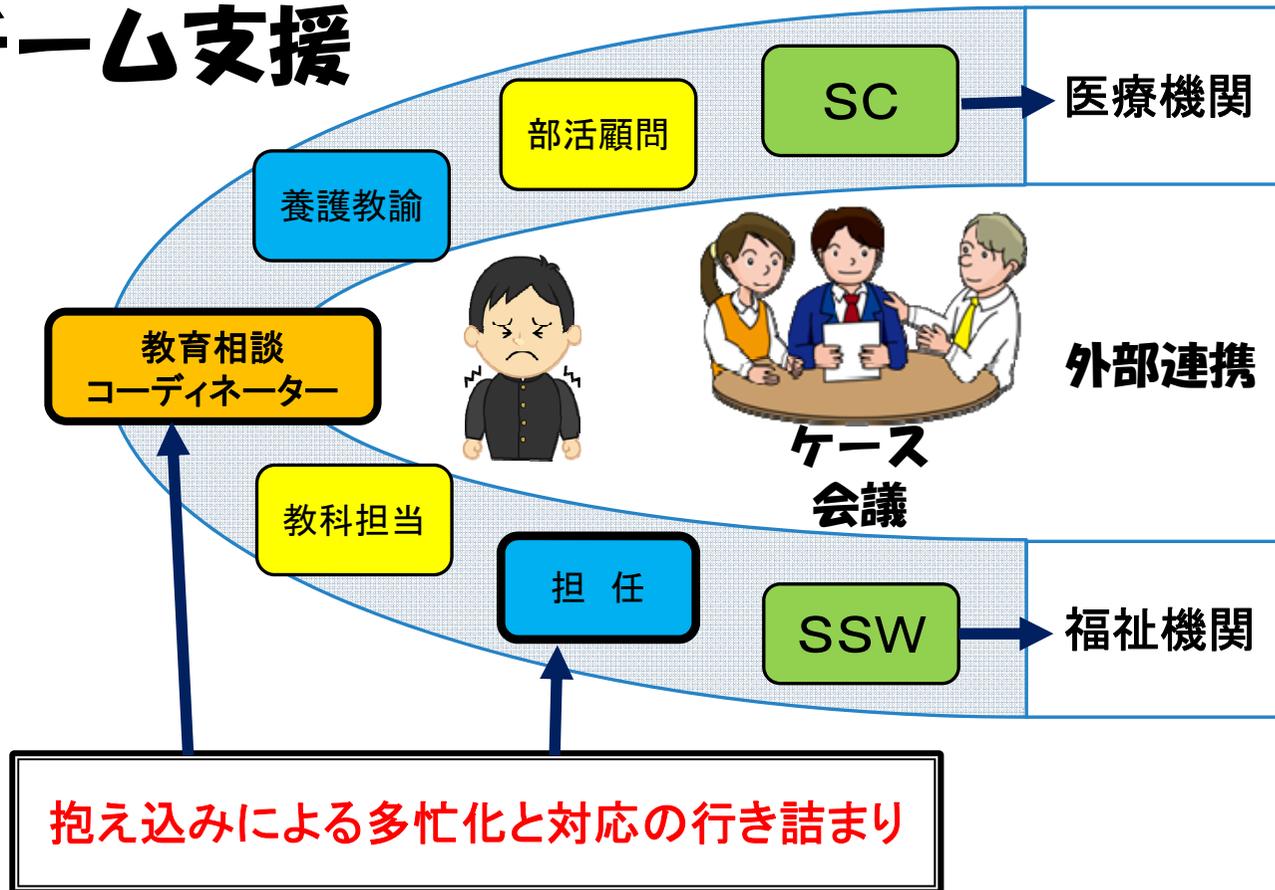
～ 令和2年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査の結果から～

## ■ 自殺の状況



# 校内の一般的な生徒支援体制 とその陥穽(落とし穴)

## チーム支援



# 教育相談における外部専門人材の活用

---

- 外部資源(医療や福祉)との連携は不可欠
- 外部資源と連携するキーパーソンは  
外部専門人材としての
  - ➡ **スクールカウンセラー(SC)**  
生徒の内面に働きかけ 主に医療分野
  - ➡ **スクールソーシャルワーカー(SSW)**  
生徒の環境に働きかけ 主に福祉分野



# 令和3年度

## SCへの相談件数及びSSWの対応件数

～ 令和3年度 県立高等学校SC・SSW活動報告書から～

---

- スクールカウンセラー（SC）への相談件数  
（R3年度 県立高等学校・中等教育学校の拠点校に92名配置）

**1万9,070 件**

- スクールソーシャルワーカー（SSW）の対応件数  
（R3年度 県立高等学校の拠点校に30名配置）

**6,211 件**

# スクールカウンセラーへの相談状況

平塚江南高校: SCは拠点校、SSWは対象校

毎訪問日の  
予約は  
ほぼ満員

校時	時間	相談者	備考
1	9:15-10:15(60分)	3- [redacted]	
2	10:25-11:25(60分)	1- [redacted]	
3	11:35-12:35(60分)	3- [redacted]	
<u>昼休み</u>		3- [redacted] (本人)	
4	13:20-14:20(60分)	3- [redacted] (母親)	
5	14:30-15:30(60分)	2- [redacted] オンライン 父親(職場) 母親(自宅)	
6	15:30-16:30(60分)	2- [redacted] (本人)	
	16:40-17:00(20分)	教育相談打合せ	

面談結果の共有を  
教員と十分な  
時間がとれない  
ことから

円滑な引継ぎ  
今後の支援につい  
てのコンサルテー  
ションが行えない  
状況

生徒や保護者のニーズ  
にも追いついていない

# 本校の相談事例から

本人の自己実現に向けて援助  
次の進路に繋げる！  
保護者への支援も！

社会的自立

支援

- 男子生徒3年
- 学校に来ても…  
部活動の制限、体育祭や修学旅行等の学校行事の中止  
⇒ 学校が楽しくない ⇒ 不登校傾向になる
- SCが不登校の背景を聞き取り(専門的な見立て)  
⇒ カウンセリング終了後に担当教員とSCが情報交換
- 本人が不登校になってしまう  
⇒ 課題にも取り組まず、薬を処方されても服薬しない  
⇒ 不安になった母親のカウンセリングが中心となる

# 他校の相談事例から

学校生活継続に向けた援助  
ヤングケアラーへの支援！  
貧困家庭への支援！

学校生活の安定

支援

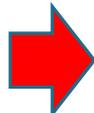
- 定時制男子生徒1年
- 一人親、外国につながる生徒
- **母親は日常会話がおぼつかない**
- 母親が医療機関や役所に行く際には、



本人が学校を休んで付き添う（健康保険証なし）

- 生活保護の受給手続きが進まないため経済的に困窮

スクールカウンセラー（SC）ではなく

 **スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用が有効**

## 先の事例では...

福祉的な支援については  
アウトリーチが重要！

- SSWが保護者とともに直接役所の窓口を訪ね、役所の担当者に**日本語の支援が必要な家族であることを認識**させる。



- **通訳派遣支援事業や支援団体等を紹介し**、保護者が積極的に利用するよう促す。



- 当該生徒の授業への**出席状況は急速に改善**した。



# 学校が困っていること

家庭内の問題は…

学校に相談しづらい

デリケートな問題

見えづらい

積極的なスクリーニング

★ 相談ニーズが多くあり、  
早期対応や未然防止に向けた対応が十分にできない

★ 子どもの貧困やヤングケアラーなどの家庭問題には  
学校だけでは対応が困難

さいごに……



すべての子どもが集う場である学校は

**支援のプラットフォーム**

**誰一人取り残さず支援し**

**生徒の自己肯定感の育成を目指します！**



ご清聴ありがとうございました

